

巻頭言



青森県知事 三村 申吾

Happy Happy 世界から選ばれる青森を目指して

2021年7月、私たち青森県をはじめとした近隣4道県と関係自治体が目指してきた「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産への登録が決定しました。縄文遺跡群が示す顕著な普遍的価値が認められたことを大変嬉しく思いますとともに、これまでの関係各位の御支援・御協力に心から感謝申し上げます。

^{いにしえ}古に思いを馳せますと、青森県は約1万5千年前に始まった縄文文化のふるさとであり、そこに生きる縄文人は、長い年月、自然と共生し、世界に例のない持続可能な社会を築きました。

時を経て、グローバル社会が進展し、発展するICTが日々の生活に変化をもたらし、人・モノ・情報などの流動性が高まる現代にあって、青森県では、さまざまな分野での価値が認められ、世界から「選ばれる青森」の実現と「地域で経済が回る」持続可能な社会の形成を目指しています。

また、人口減少が進む中、地域経済を活性化させるためには、国際化に対応した地域力の創出や国内外からの「交流人口」の拡大が重要となることから、青森県では、これまでも韓国・济州特別自治道との両道県にある世界遺産を通じた人的交流や、台湾などの現地企業と県内企業とのビジネスをはじめとした多様な分野での交流、国際的資質を備えた人財の輩出や地域づくりを積極的に推進してきました。

特に、海外からの誘客に関しては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、厳しい状況が続いていますが、「ビヨンドコロナ」、新型コロナウイルスを乗り越えた先の「選ばれる青森」の実現に向け、青森りんごの主要輸出先であり、一昨年には青森空港との定期便も就航した台湾での知名度を生かした取り組み、北東北三県・北海道事務所がある韓国での現地拠点機能を生かした取り組みなどについて、国・地域ごとのニーズを捉えつつ、積極的に推進することとしています。

世界から「選ばれる青森」として目指すところは、「暮らす人」が地域の資源を大切にしながら誇りを持って磨き上げ、「訪れる人」がその魅力を満喫することによって幸せを感じ、そのことが地域で「働く人」の^{なりわい}生業を創出し、「暮らす人」の幸せとなり、地域にさらなる交流を呼び込む、「人」も「地域」も幸せになる社会です。

「Happy・Happy」を合言葉に、人と地域の幸せが好循環する、世界から「選ばれる青森」を、私たち青森県は目指していきます。